

日本政策投資銀行の C S R ・ S R I への 取組について

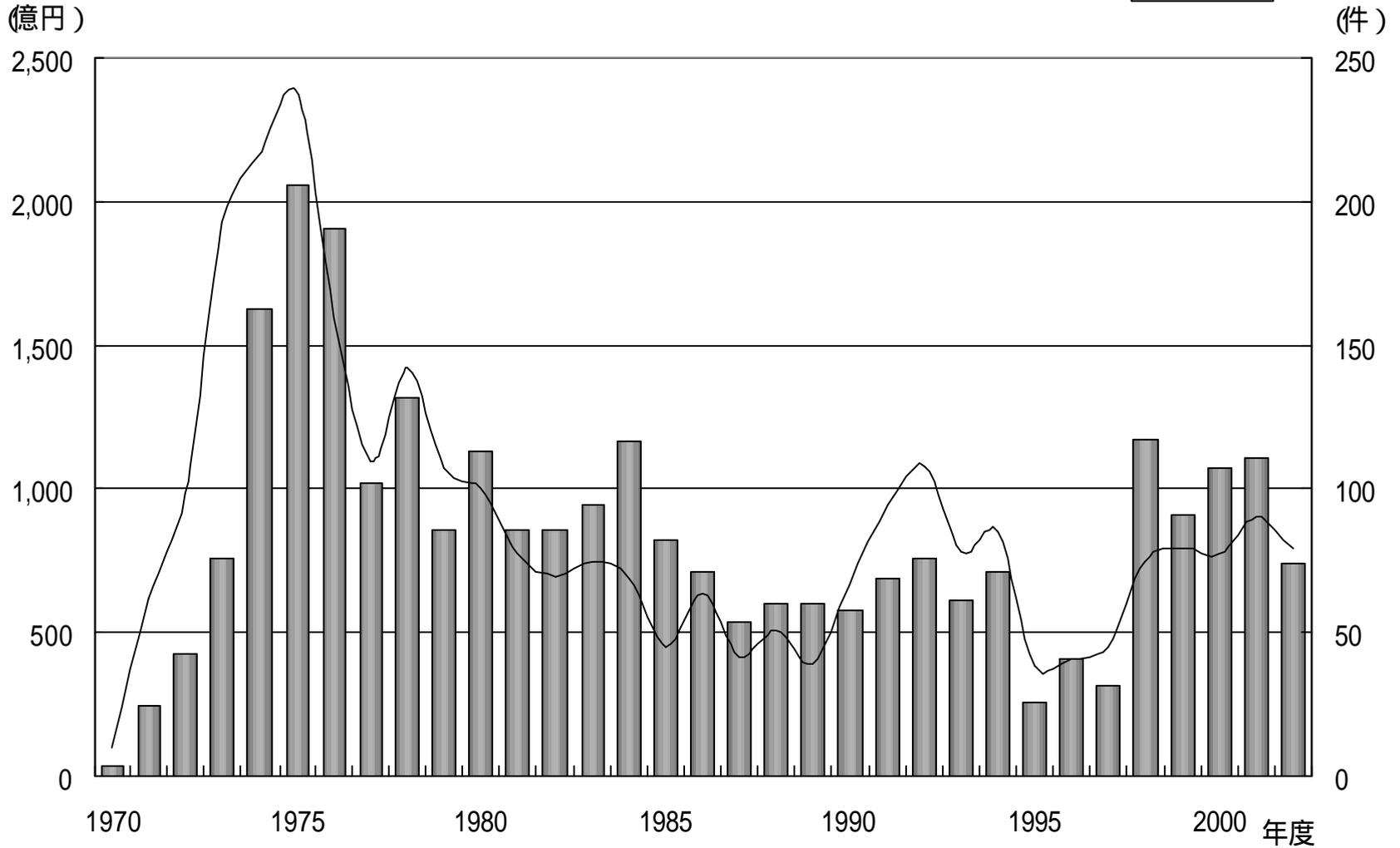
2003.5.19

日本政策投資銀行
社会環境グループリーダー / 政策企画部課長
山 本 貴 之

日本政策投資銀行の概要

- 政府全額出資の政策金融機関
- 目的：経済社会の活力の向上および持続的発展(サステナブル・ディベロップメント)
- 業務：長期資金の供給（出融資・保証）
環境対策分野： 循環型社会形成推進
地球環境対策・公害防止
環境配慮型企業活動支援
環境負荷低減型エネルギー供給
1960年以降 3兆円の環境融資実績

日本政策投資銀行環境対策融資実績



新しい企業活動・評価の視点

✉ トリプルボトムライン：経済・環境・社会

CSR（企業の社会的責任） ISO規格化の動き

SRI(社会的責任投資) の拡大

米国：市場ベースでの拡大（SRI資産残高2兆3千億ドル）

英国：年金法改正（2000/7）、保険協会ガイドライン

日本：環境配慮型投資信託から（9ファンド：650億円規模）

文化や宗教的背景を色濃く反映する欧米のSRI・CSR評価基準の規格化とわが国の経営風土に与える影響

✉ 環境格付 持続可能性格付

投資が環境配慮型プロジェクトや環境経営企業に向かう。

環境報告書・持続可能性報告書の審査格付 株価上昇

(欧米)サステナビリティ社、イノベスト社 (日本)環境経営学会等

CSR配慮型金融への取組み

✉ 目的：持続可能性 / 社会的責任に配慮した経営の促進 < 企業の非財務的な価値・継続的企業価値 (Sustaining Value) の評価 >

企業の持続可能性投資・社会的責任投資の支援
サステナビリティ・マネジメント・システムの構築 (ガバナンス・情報開示・透明性・法令遵守 = CSR規格対応) など

CSRパフォーマンス評価を金融の評価軸に加えて優遇措置を設けることによる社会的責任経営促進を検討

SRIFund (出資)

・ESGプロジェクトを対象とするFundの検討

社会的責任配慮経営の支援策を検討

(1)対象：社会的責任配慮経営を進めようとする企業

以下の2つの事業活動を融資により支援することを検討

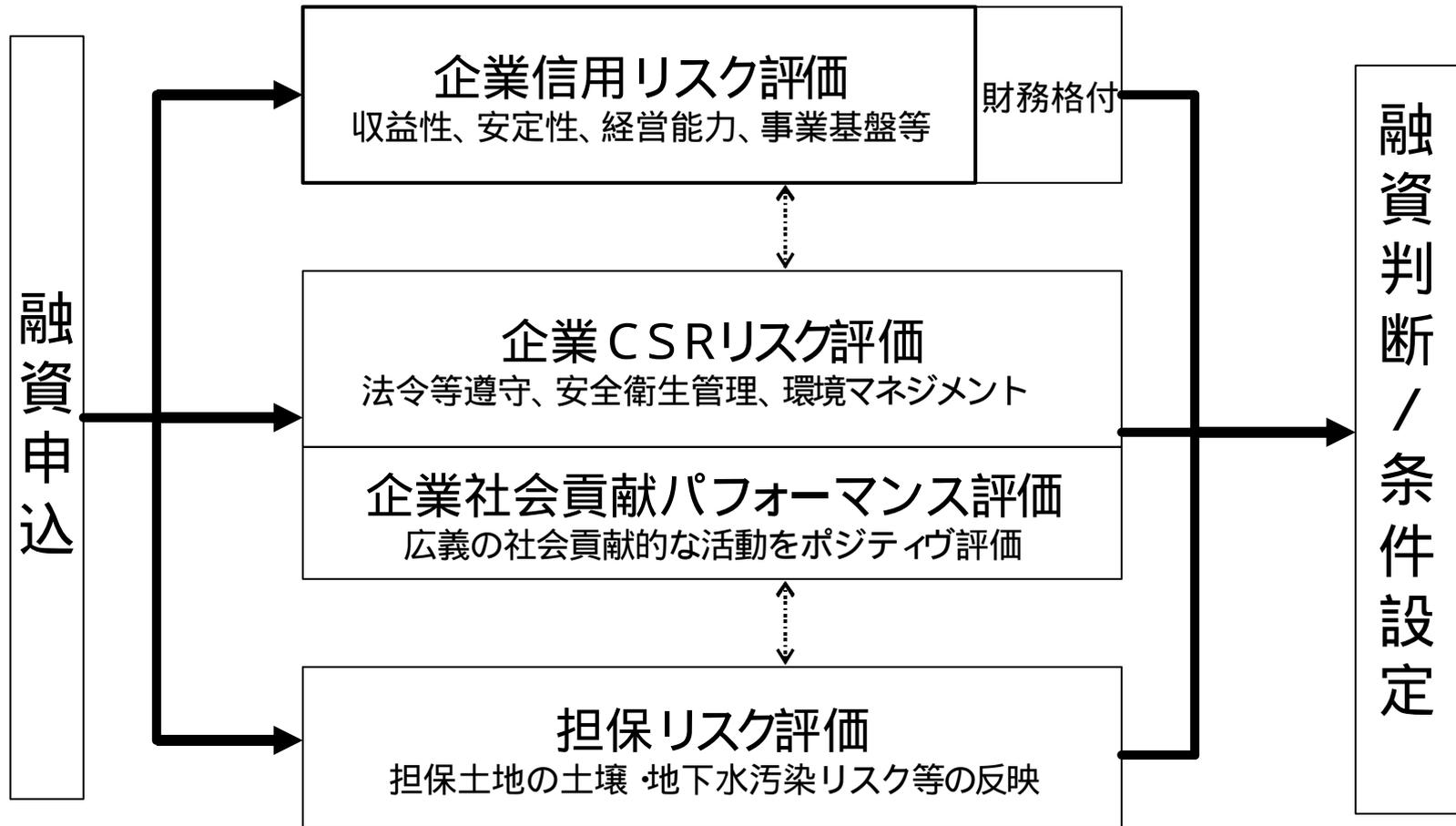
CSR配慮経営システムの構築（ガバナンス、情報開示、透明性、法令遵守など）

CSR配慮経営に資する事業活動（広義の社会貢献事業。例えば、環境・福祉・文化・防災などに配慮した事業のうちCSR規格取得に際して目標設定したものなどを支援。）

(2)対象となる資金

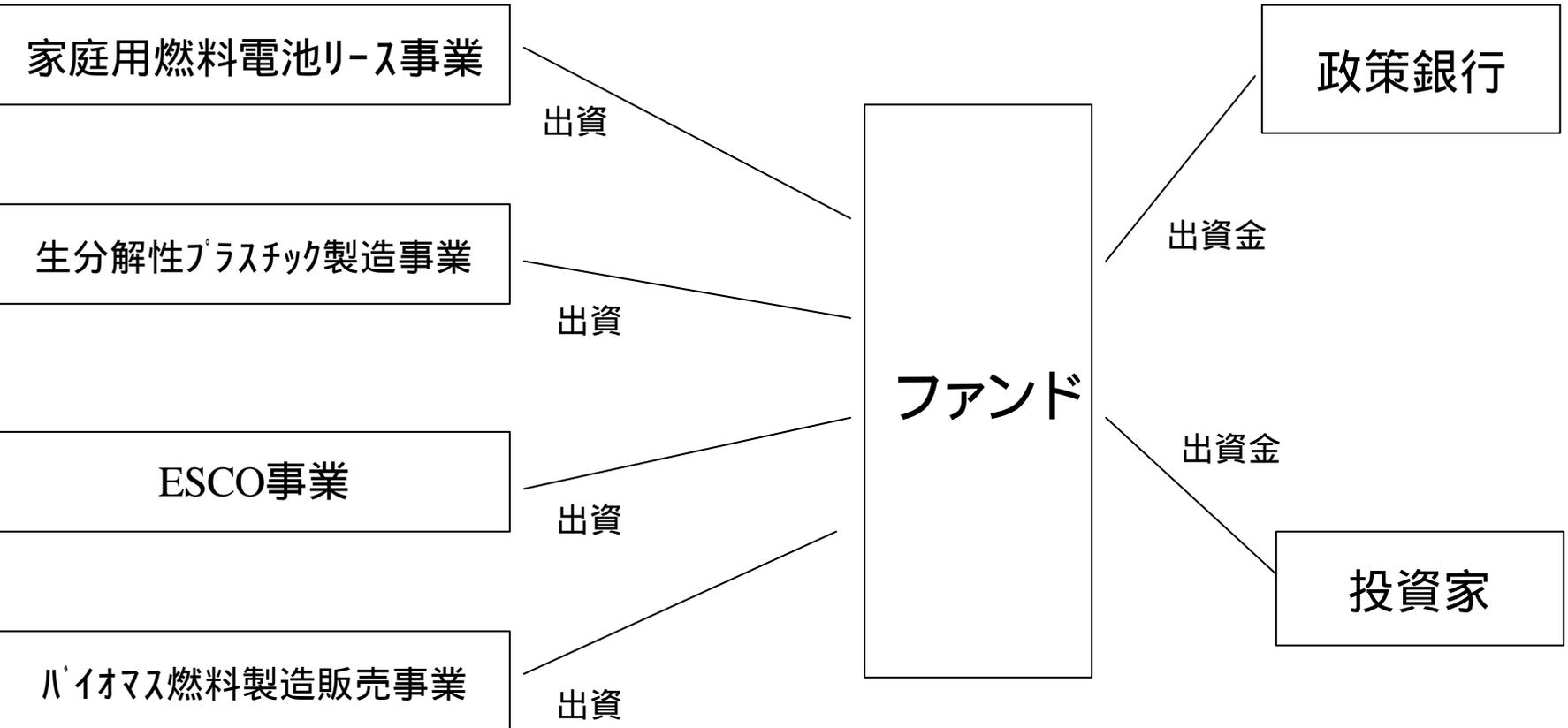
を向上させるシステム投資・組織改革・マニュアル策定（CSR規格対応に必要な資金を含む）などに必要な資金に該当する事業活動に必要な資金

銀行におけるCSRパフォーマンス評価スキームの将来像



エコプロジェクトファンド

エコプロジェクト (特に民生・運輸にかかる温暖化対策に資するものを想定)



(注) 出資は事業立ち上げ時または事業本格稼働時を想定